

ふくしま YOUTH VOICE 2026 第1回目（白河市・石川町）実施結果

1 日 時

令和8年2月22日（日） 9時00分～16時00分

2 場 所

- ① フィールドワーク・ワークショップ（午前）
コミュニティ・カフェ EMANON
- ② ランチョンレクチャー
大野農園
- ③ フィールドワーク・ワークショップ（午後）
辺見設計 建築設計事務所「作楽」

3 参加者

高校生16名

4 概 要

- ① コミュニティ・カフェ EMANONにて、EMANONにおける若者支援の取組などを通して、こども・若者の声（意見）を発信することや聴くことの意義について学んだ。
- ② 大野農園にて、昼食をとりながら従業員の方から地域で働くことの魅力などについてお話を伺った。
- ③ 辺見設計にて、被災した蔵をリノベーションした「作楽」への想いや、復興公営住宅の設計を通じた地域コミュニティの再生などについてお話を伺った。また、西会津町で暮らしの体験宿「ひととき」を運営する佐々木祐子さんから、ひとときを開設した経緯や西会津町のこどもたちと行った「Co-AKINAI CAMP」の取組についてお話を伺った。

5 参加した高校生の意見や気づき等

- ・ EMANONのような高校生が利用しやすい居場所が自分の町にもほしい。
- ・ 一から作るのではなく、あったものを再利用し、大切にする。自分の代だけで終わらせないという考えがカッコよく、自分の中で価値観が変わった気がした。
- ・ 田舎だから何もできないと思っていたが、佐々木さんの「田舎だからこそチャレンジの余白がある」というお話に励まされた。
- ・ 失敗を恐れてチャレンジすることに躊躇してしまうが、失敗は成功の過程だと思って失敗したとしても重く受け止めずに、いろいろなことに挑戦し続けることが大切だと感じた。

